

投資事業評価調書（継続）

部課室名	県土整備部 土木局河川課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 石川 浩 (主幹兼治水係長 窪田 彰)	内線	(4437)
------	-----------------	---------------------	------------------------------	----	--------

事業種目	河川事業	事業名	事業区間	総事業費	約44億円
		広域基幹河川改修事業 岸田川水系味原川	美方郡浜坂町浜坂	内用地補償費	約15.4億円
所在地			事業採択年度	着工年度	完成予定年度
美方郡浜坂町浜坂			H4	H4	H19
事業の目的			事業内容		
治水対策 平成2年9月の台風19号により、甚大な浸水被害が発生した当該地域の浸水被害を防止し、地域住民が安全で安心して生活できる環境を緊急に確保する。			計画流量 60 m ³ /s 実施内容 L=1,620m、W=27.2m 放水路、捷水路、河道掘削 道路橋架替 6 橋 鉄道橋架替 1 橋 樋門 1 門		
進捗状況	・平成4年に公共事業として改修に着手。岸田川合流点からJR橋梁下流までの放水路を含む740m区間については順調に進捗し、平成13年度末に完成予定。				
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	・当該地域は、平成2年9月の台風19号により浸水面積約47ha、家屋231戸の甚大な浸水被害を受けた。 JR橋梁より上流の未完成区間の現況流下能力は、計画流量の15%程度と極めて低く、出水による家屋・農地の浸水・主要道路の冠水を防止し、地域住民が安全で安心して生活できる環境を緊急に確保する必要がある。				
(2)有効性・効率性 ・有効性 ・代替性 ・効率性	・費用便益比 B/C = 1.3 ・当該事業により、計画流量を安全に流下し、市街地の家屋や事業所（金融機関、スーパーマーケット等）、道路（国道178号、主要県道浜坂停車場線）の冠水被害を防止することができる。 ・現計画の支障物件が少ない放水路・捷水路は、人家密集地域の現川拡幅に比べより経済的・効率的である。 ・地域住民は、浸水被害を危惧し事業の早期完成を切望しているため、地元の協力を得て円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・多様な生物の生息場を創出し、親水性にも考慮して、1:2の緩勾配の土羽堤防としている。				
(4)優先性	・再度の浸水被害を防止するため、完成した下流区間に引き続き残事業を早期に完成させることが必要である。				
再評価の結果	継続妥当	左の理由	上記内容により継続が妥当と認められた。		